広報あいかわ

発行所
秋田県北秋田郡
合川町役場
合川町公民館
（役場総務課　T　4
公民館　T　44）

水害対策など協議

町議会全員協議会開く

町議会全員協議会は去る四月十三日午前十時から役場会議室で開かれ、四月五日の融雪水害対策など五項目を協議、同日正午閉会した。

この協議会で畠山町長は四月五日町内全地域に発生した融雪洪水による水害の対策として、災害ヵ所の早期復旧をはかる陳情を行ない、県工事関係の災害は査定を促進すること。町工事関係はできる限り補助工事として復旧したい。

合川中学校の建築にあたつては、町として画期的に大きな工事であり、また円満のうえに工事を進めたいそのためにいろいろ協議したいので議会に特別機関を設置したいなど今後のあり方を明らかにした。

なお協議された事項は次のとおりである。

……水害対策……

四月五日発生した融雪水害の被害状況が県工事、町工事分と詳しく報告され、県工事は、関係機関に陳情を行ない早期の復旧を期し査定の促進を交渉している町工事の分については、補助工事としたい方針で査定をいそいでいる。

いづれにしても災害復旧には、町当局と町議会が一致して早期復旧の促進をはかるべきであるということになつた。

（その後関係機関と交渉の結果、現在までの復旧見とうしは別項のとおり）

……合川中学校建築のすすめ方……

建築の規模、本材の払下げなど町として重要な大工事であるとともにこの事業を円満りに進めるために町当局と協議できる町議会の特別機関したい町当局の意向は、今後検討することになつた。

……その他……

そのほか昭和三十五年度の都市計画債、法務局出張所の入札結果（別項のとおり）の報告があり、

その他では落合橋掛替え促進、上小阿仁村との経済交流の事などが協議された。

登記所の新築工事

小林組（道城）に落札

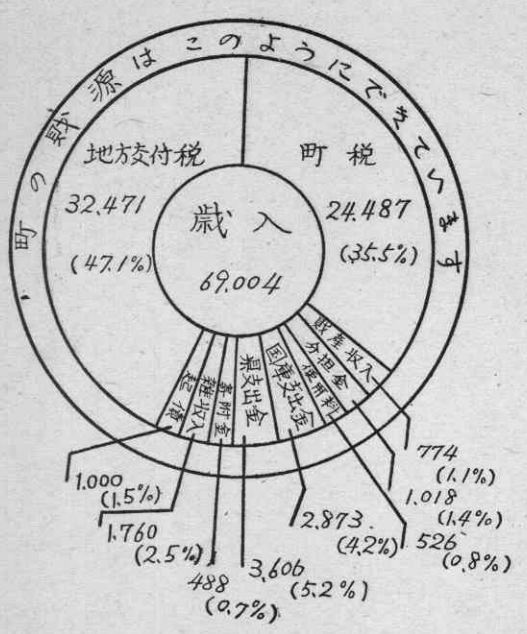
法務局落合出張所（登記所のこと）を李岱から駅前の一角（新田目字大野七一ノ一）にできることになつた。

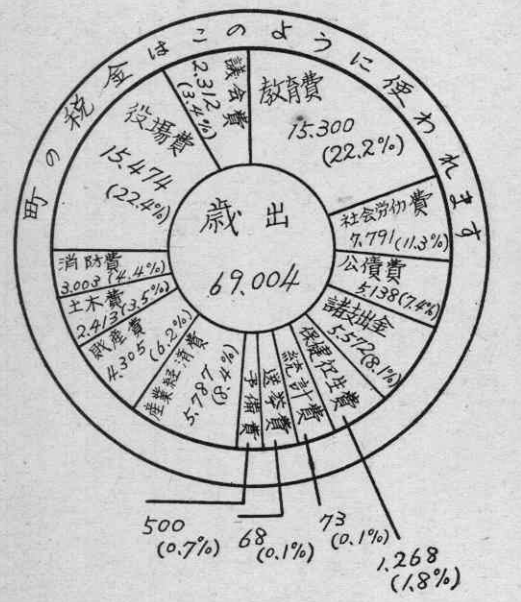
登記所を駅前に移転したいと云うことは、役場と離れていては、戸籍、印鑑証明や農業委員会との連絡などから不便であり、役場の近くに移転しようと云うことになり関係方面に陳情していたところ去る三月認可になり三月定例町議会で建築案が可決されていたものである。

現在落合出張所の管轄区域は、西北南の三地区で東地区は米内沢出張所管轄となつており、町の行政区域と同じく東地区もこの出張所で取扱われ、あらたに合川出張所とその名称を変更することを東地区住民は強く要望しており、これらが実現されることによりこれまでの不便が一きよに解消されることになるわけである。

ことしの予算①

◇一般会計◇





昭和36年度の一般会計予算を図表にしてみると上のようなグラフができます。

このグラフでわかることは，歳入では地方交付税（財源の乏しい県や市町村に国が援助するため）が32,471千円と半分に近い47,1%を占めまた町民の皆なさんが直接にまたは間接に納める税金は24,487千円と35,5%である。

歳出では役場費が15,474千円と22,4%，次に教育費が15,300千円の22,2%となつている。この中には教育委員会や学校，社会教育などの常費のほかに合川中学校建築への繰出金4,300千円，各小学校，東中学校の整備費1,202千円が含まれている。

任期満了の選管委員補充員決る

四月十二日をもつて任期満了となつた町選挙管理委員会の委員および補充員は三月定例町議会で次の八氏が選任されている。

◇委員

今泉重治郎（前）道城
松橋安太郎（前）三里
木村貫一（前）李岱
杉淵啓治（新）木戸石

◇補充員

斎藤武之助（新）新田目
三浦重治（前）三木田
坂上市太郎（新）上杉
小笠原与之助（新）増沢

役場各課の——事務分担かわる——

役場では、四月一日付で人事の異動を行なつたが、これにともなつて各課の事務分担が次のようにかわつた。

（註）氏名のうち上段は主任者、カッコ内は副任者である。

◇総務課

▽総括、企画及び総合調整
木村（士）課長

▽条例、規則、文書の保存管理、議会事務局、監査委員事務局、選挙管理委員会
木村清造（福岡昭二、松橋新一）

▽統計、文書の収受、公印保管、町史偏さん
松岡祐吉（金田功子）

▽職員の人事給与、共済、恩給、退職手当、職員団体、福利厚生、研修、消防、水防
福岡昭二（松橋新一）

▽広報、世論調査、庶務、庁中取締り、儀式、表彰
松橋新一（木村清造）

▽簡易郵便局
鈴木運助（疋田玲子）

▽浄書、役場日誌、町長室
金田功子

▽用務員
阿部重作、田中利明、安部時枝

◇財政課

▽総括
土濃塚課長

▽予算、町債、財産、財務監査
金田仁市（斎藤信一、佐藤陽三、長浜礼子）

▽基本財産造成事業
斎藤信一（金田仁市）

▽町税の賦課
佐藤昭蔵（斎藤信一、畠山宇之助、中島清一、杉淵光徳、成田清二郎、桜田龍治）

▽納税組合、貯蓄、諸証明
軽自動車
畠山宇之助（杉淵光徳、桜田竜治）

▽税外収入
中島清一（金田仁市）

▽町税の徴収
杉淵光徳（課内全員）

▽土地台帳、国県税
成田清二郎（佐藤昭蔵）

▽木材引取税
桜田龍治（畠山宇之助）

▽国民健康保険
桜田芳之助、佐藤陽三（長浜礼子）

◇町民課

▽総括
木村（修）課長

▽保育施設、厚生
藤島啓三（畠山勝治）

▽社会福祉事業、厚生
畠山勝治（藤島啓三）

▽国民年金、扶助料、恩給
杉満佐一郎（桜井政治）

▽戸籍、印鑑、自衛隊募集
外国人登録
桜井政治、成田キク（金式子）

▽住民登録、戸籍証明、庶務、配給
金式子（成田キク）

▽衛生
鈴木一男

▽保健衛生
金田スエ、佐藤千代子

▽心配ごと相談所
藤島幸一

◇経済課

▽総括
柴田課長

▽農政、農業振興、林業
金田市蔵（木村仁兵衛）

▽失業対策、職業
穴倉養助（東海林栄悦）

▽農業技術、青年破修、土地改良
木村仁兵衛（金田市蔵、工藤博）

▽土木、建築
東海林栄悦、小林富男

▽酪農、畜産、商工、水産
佐藤隆雄、工藤博（木村仁兵衛、福岡博）

▽畜産振興会
福岡博（佐藤隆雄）

▽米穀
桜井浩子

◇出納室

▽特別会計、用度
桜井栄治

▽一般会計、給与
安部辰之助

▽窓口
松岡ユキ

◇農業委員会
佐藤秀二、村形厳丸

町職員の異動

（四月一日）

主事　木村清造（経済課）
総務課へ　桜田芳之助（経済課）
財政課へ　穴倉養助（財政課）
経済課へ　斎藤信一（経済課）
財政課へ　佐藤秀二（財政課）
主事
農業委員会事務局長　金田市蔵（農委）
主事
経済課へ　小林富男
雇を命ずる
経済課勤務を命ずる　亀谷誠子
保母を命ずる
東保育所勤務を命ずる　福岡博
雇を命ずる
町畜産振興会へ出向　藤島幸一
雇を命ずる
町社会福祉協議会へ出向　田中利明
用務員を命ずる
総務課勤務を命ずる　成田アキコ（病院）
教育委員会へ出向
看護婦　福岡チタ（西小）
合川北小学校看護婦を兼ねて命ずる
書記　杉満テツ子（教委）
用務員　田中タメ（合川中）
願により本職を免ずる

造林の終了届

至急森林組合

ことしの春植林（一団地一反歩以上）された人は、至急造林終了届を森林組合（電話合川一七七）へお届け下さい。

融雪水害対策の状況

※県工事関係

被害箇所	区分	復旧対策状
鎌沢	堤防	県の被害調査で復旧額四〇万円
三木田下悪土	護岸	〃 八〇〃
三木田上舟付	〃	〃 三〇〃
李岱柳原	〃	〃 二〇〃
川井、下中島	堤防	〃（県が緊急査定の準備中）
木戸石柳原	護岸	〃 一〇〇〃
木戸石館の下	〃	〃 一〇〇〃
木戸石木田境	〃	〃 一二〇〃
木戸石木田境	〃	〃 八〇〃
三里ムクレ岱	〃	〃 一〇〇〃
三里ムクレ岱	〃	〃 九〇〃

※町工事関係

新田目（新田目橋）	橋梁	上部橋脚とも木造は三五〇〃 上部木造永久橋脚は七五〇〃（緊急査定の設計中である）
塵除		木造一基の復旧額　八〃

※田面および堤塘復旧

三里イカリ田面	堤塘	復旧額が一〇万円を越える見込で補助工事とする緊急査定をうける準備中

※林道橋梁復旧

三木田孫七沢　橋梁　緊急査定をうける準備中

その他の災害地の復旧にも関係機関へ陳情または協議して早期復旧を期している。

診療体制を強化

町立病院　診療自動車を更新

町立合川病院へこのほど新らしい診療用自動車が入庫した。

合川病院では、これまで使っていた診療用自動車が古くなったので、昭和三十六年度で更新することになっていたものである。

この新しい診療用自動車は、トヨタ自動車ご自慢の六一年型マスターラインと云う新型車、値段は八十一万八千円で秋田トヨペット営業所から入車したもの。

これまでの車と比較すると後方ボックスへ直接ドアーで乗降できることと、後尾部ドアーが上下に開閉できるようになっており、これまでの不便がなくなるよう改良されているおり利用者に喜ばれている。

これまで皆さんに親まれていた車は中古車として売却されることになっている。

成田事務長の話「今回関係者の理解によって病院自動車を更新することができて感謝している。新しい車はかなり改良されており入院や退院の利用者のサービスになればと考えている。」

還暦者のつどい

町社福協　記念に梅苗木

町社会福祉協議会（会長畠山義郎）では、四月二十二日午後一時から役場会議室で還暦を祝う会を開き、ことし還暦を迎えた人達（明治三十三年一月一日から同年十二月三十一日までに生れたもの）にお祝のことばと記念樹として梅苗木一本づつをおくつた。

ことし還暦を迎えた人達は百十人おりますがこの日集つた人は五十余名、会長からお祝のことば（書状）と記念の梅苗木が贈られこれまで歩んできた人生を想いおこしているがごとく感がいにふけていた。

町社協では、この還暦記念を去る昭和三十一年からはじめ、還暦祝の統一への方向をしめすほか一本一本植えられる梅の木が年ごとに増え、やがては合川町を梅の名所にしたいといつている。

今年の還暦者数は次のとおりです。

地区名	男	女	計
東地区	9	25	34
西地区	16	9	25
南地区	15	9	24
北地区	14	13	27
計	54	56	110

国保の窓口から

◎被保険者の異動は必ず届出を

国民健康保険の被保険者になるべき資格を得たときまたは資格を失つたときには届出をしなければならないことはなつているが、合川町へ住所を移した人、合川町から転出した人、または営林署などの社会保険の適用される事業所へ雇用された人で届出をしていない人が多数おります。

まだ手続をしていない人は被保険者証を持参のうえ至急届出するよう願います。

町内小中学校　運動会の日程

町内各小中学校では、春の運動会の日程を次のとおりきめた。

東小、中学校＝五月十三日
西小、合川中西校舎＝五月九日
南小、合川中南校舎＝五月十日
北小、合川中北校舎＝五月十四日

みんなで明るい街づくりへ

私たちの住む町、いつも通るあの道、この道、仕事を終え家路に急ぐ人々、夕食後のたのしいお買物の人々、散策の人々、そして商工業発展の息吹きを見るような自転車のむれ、私たちの住む町の道は、いろいろな役目に、朝暗いうちから夜おそくまで仂いてくれます。

もしこの道路が夜間明りもなく真暗なものとしたらどんなにか不便を感ずることでしょう。

暗さが誘う犯罪や事故などにいつも脅かされなければなりません。

四月十五日から五月三十一日まで全県的な街を明るくしましょう、と強調運動が行なわれています。

交通事故のない犯罪のない明るい街づくりの運動に参加しましょう。

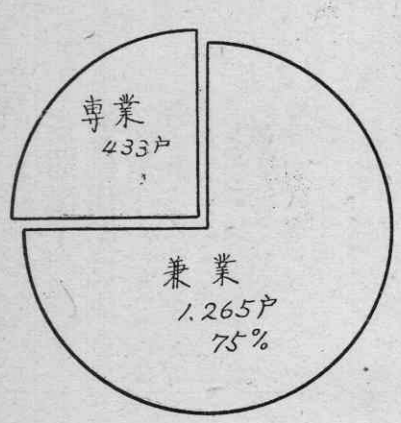
グラフで見る合川町

③　兼業農家の分析

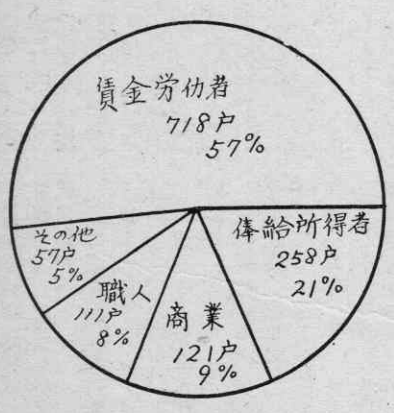
すべての産業で所得倍増計画が進められているが特に大さな関心がもたれていることは農業所得の倍増計画である。そこで合川町における農家の兼業の状態はどうなつているか？去年の2月行なつた世界農林業センサスによつてみたところ左のようなグラフの結果がでた。

この結果によると農家の75%が兼業を行なつているわかるこのことから兼業の安全度確実であるか、経済的なるかとあるる。

農家の専業兼業状況



兼業農家の兼業実態



みんなで無火災を

県の指定をうける

わが合川町が、ことしの無火災県民運動の指定町として、この程県から指定された。

県では、年々多くの火災が発生、莫大な損害をうけているところから「火災のない秋田」の実現をめざし市町村や市町村新生活協議会、消防機関が主体となつた無火災県民運動を進めているもので、その推進をはかる町として指定をうけたものである。

私たちの町は火災の多いことでは県でも十指に入る町となつている。

しかし、さいわいにも今年は、町民みんなの徹底した火災予防によつてまだ一件の火災も発生していないわけで、今年こそ無火災の指定にはじないためにも皆んなの力で火災のない年にしようではありませんか。

夏場所の活躍に期待

大野咲晴れの十両入り

大相撲伊勢ヶ浜部屋の大野咲（当町増沢出身）は去る三月の大阪場所で幕下全勝優勝を成しとげたが、来る五月の夏場所には晴れの十両入りすることが確定、わが町からはじめて関取りが誕生することになつた。

地元増沢部落の有志は大野咲後援会を結成し、今後の活躍を期待することになつており広く町内から会員を募集したいといつている。

伊勢ガ浜部屋からこのほどの便りによると、化粧回し、締込みの準備もすつかりできあがり夏場所に備え猛けい古に励んでいるということであり、その活躍に大きな期待がもたれている。

牛の飼育と管理

杉江獣医師

乳牛は、受胎だ、分娩だ次は繁殖障害だと他の家畜よりも疾病が多いことは周知のとおりですが、飼育管理の改善努力によつてその大部分の疾病は防ぐことができうるものです。

当地方における乳牛の疾病は繁殖障害と乳房炎が半数以上をしめしているのでこれには完全なる対策をたて善処すれば半減することができます。

（写真は第三胃食滞切開手術）

一例をあげると、乳房炎にかかつた場合農家が最初に乳房炎軟膏を用いる等の素人療法を行なうため、症状は軽くならずむしろ悪性に進行しはじめて獣医師の診療を受けるというようなことが行なわれている傾向があるが、これは事故を最悪の状態に追込むことになるので最初に完全な診療を受けることに留意すれば乳房炎による損害も軽減されるわけである。

また人工授精については三回以上行なつても受胎しない場合には通常病的なものと考えて診療をこうべきです。

これらのように原則にたつて早期に適切な措置を構じて牛の経済性をたかめるよう農家の方々の理解を得たいと思います。

〃繁殖上の注意〃

牛は一年中繁殖できる家畜ですが、春は最も受胎しやすい季節ですからいろいろの原因をつかめないのは獣医師に依頼してできるだけこの時期に受胎成功するよう努力することである。

またこの時期には突然の運動、激しい下痢、共同運動（放牧）などの場合に角突きなどにより流産多発しますから妊娠牛の取扱いには細かな注意をはらつて障害の予防につとめましよう

〃家畜共済の利用〃

診療面については、農業共済組合の家畜共済に加入することによりこの費用が軽減されますが、当町の場合は約七〇%の加入率を示しておりますがまだ共済制度の理解がたりないと思われますので高度に診療所を利用する意味からしても深い理解と加入を望みたいものです。

〃事故にはこんなこと〃

次に最近の大きな事故を照会すると

……①……

牛が大根を食道に梗寒（つまること）し、推送しても不可能であつたため食道切開手術を行ない治癒したもの。

……②……

牛の第三胃食滞をおこし数日間治療をつづけても症状は軽くならず胃切開手術を実施し約二週間で治癒したもの。

……③……

牛が夜間逃げ出して濃厚飼料の大量を盗食したので直ちに胃切開手術を行ない約二週間で治癒したもの。

このように近年は薬品および器具器械の改良発展をみているので、異常を認めた時にはちゅうちょせずできるだけ早期に診断し大事な家畜を廃用や斃死などから守りましよう。

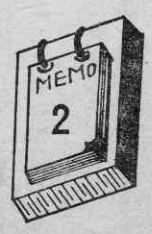
（筆者、県農共連米内沢家畜診療所合川地区駐在）

御芳志

合川町民政委員松井長之助氏（福田）はこのほど社会福祉事業にたいし金二千円をご寄附くだされた。

松井氏は、昭和三十五年の民政委員の手当を役場からもらつたがこれを社会福祉事業の資金にして下さいと寄附されたもの。

町政メモ



4月16日　土木経済委員会
19日　水害地を調査
ビート栽培推進協議会
20日　職員研修会
22日　還歴者のつどい
24日　学校調査打合せ会
26日　農業委員会

あとがき

私たちのまわりにも花がみられるようになつた。

今はレジャーブームの時代と云われているがこの春を十分たのしませてくれることでしよう。

×

それにしても消費の倍増はすぐできても所増の倍増はなかなか程遠いもののようだ。

×

農家ではそろそろ田畑の耕起に忙しさを加へる時期となつたが、出来秋を祈りたい。

（広報係　松橋主事補）